

アメトクトラジン・ジメトモルフ水和剤 ザンプロDMフロアブル	取扱メーカー： BASF 原体メーカー： BASF, BASF
成分： アメトクトラジン.....27.0% ジメトモルフ.....20.3%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 2つの有効成分で、疫病・べと病の生活環のほぼ全てのステージを強く阻害。
- 葉面ワックス層に対して高い親和性を有することで、高い耐雨性及び残効性を示す。
- 浸達性を有し、治療的効果も有す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 発病前から発病初期の使用により安定した防除効果を発揮する。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。

【薬効・薬害等の注意】

- ばれいしょに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。

- ぶどうに使用する場合は、果粉溶脱のおそれがあるので大豆大以降の散布をさける。

【安全対策上の注意】

- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用 病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アメトクトラジンを含む 農薬の総使用回数	ジメトモルフを含む 農薬の総使用回数		
小粒種ぶどう	べと病	2000～ 3000倍	200～ 700 ℓ	45日前まで 30日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内		
大粒種ぶどう		1500～ 2000倍	100～ 300 ℓ	7日前まで	3回以内			無人航空機 による散布	3回以内	
だ い ず	茎疫病	1000～ 1500倍								前日まで
あ ず き		1000倍		無人航空機 による散布						
ばれいしょ	疫病	1000～ 1500倍				25 ℓ				前日まで
		250倍	3.2 ℓ							
ト マ ト ミニトマト		1500倍	100～ 300 ℓ	7日前まで		無人航空機 による散布		散布		
きゅうり	べと病	1500～ 2000倍	1.6 ℓ							無人航空機 による散布
たまねぎ		24倍		白色疫病		散布				
ね ぎ	べと病	1500～ 2000倍	100～ 300 ℓ		14日前まで 3日前まで		散布			
レ タ ス は く さい										